

# 令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和8年3月19日

札幌市立幌北小学校

## 1 本年度の重点目標

自分を大切に そして 誰かとともに  
「これから」を創る子どもを育む  
5つの重点～あいさつ・そうじ・ふわふわ言葉・朝読書・げんき～

## 2 本年度の経営方針

しなやかな姿～学習の場でも、生活の場でも～  
間違いや失敗を恐れずに何事にも挑戦する。失敗しても、それを力に変える。  
最後まであきらめず、粘り強く取り組む強い心をもっている。  
その場の状況に合わせて、広い視野で物事を見たり、視点を変えて考えたりし、柔軟に対応する。

## 3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
重点目標	あいさつ	A	今後も、委員会の取組に加え、学級・学年で挨拶について話し合う場を設けたり、地域の方との交流の機会を生かした指導を行ったりすることで、挨拶のよさを実感し、自分から進んで挨拶ができる子をさらに育てていきたい。 <input type="checkbox"/> 日常の声かけと価値付け <input type="checkbox"/> 委員会活動での啓発 <input type="checkbox"/> 児童の話し合いの場 <input type="checkbox"/> 交流の機会を生かした指導	A	A
	そうじ	A	自分の役割を果たすだけでなく、みんなで協力して早くきれいに掃除しようとする意識をさらに高めるため、今後も日常的な声かけや指導を継続していく。 <input type="checkbox"/> 学級活動での全体指導や個別での即時評価 <input type="checkbox"/> 委員会活動での啓発 <input type="checkbox"/> 指導の仕方の教職員交流	A	A
	ふわふわ言葉	A	言葉の選び方を振り返り、使う言葉によって伝わる意味や思いが変わることについて、継続的に指導していく。また、教職員自身の言葉遣いについても、よりよい手本となるよう意識を一層高めていく。 <input type="checkbox"/> 日常の声かけと価値付け <input type="checkbox"/> 委員会活動での啓発 <input type="checkbox"/> 教職員自身の言葉遣いに対する更なる意識の向上	A	A
	朝読書	B	児童の実態に合わせて担任が本を紹介したり、学級で図書館を訪れる機会を増やしたりすることで、読書への興味・関心を高めていく。朝読書や読み聞かせの時間の確保や、図書委員会による学級への図書貸出・本紹介などの取組、家庭への呼びかけも、今後さらに充実させていく。 <input type="checkbox"/> 委員会活動での啓発 <input type="checkbox"/> 全校読み聞かせ（教師）の継続	A	A
	げんき	B	休み時間の外遊びの啓発や、体育館・特別教室等で行える運動の種類を工夫するなどの取り組みを通じ、日常的に体を動かそうとする子どもたちの運動意欲の向上を図る。 <input type="checkbox"/> 休み時間の運動に対する意欲付け <input type="checkbox"/> 運動の場の工夫	A	A
学校関係者評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふわふわ言葉」を日頃から意識して過ごすことは、子どもたちが大きくなってからも非常に大切なこと。相手を思いやる気持ちをもって、人とのつながりを作り出す力を引き続き育んでほしい。</li> <li>・子どもたちの体力向上に関しては、地域として遊べる場が少ないという課題もある。</li> <li>・町内会やネオロスにも協力できることがあれば連携して取り組みたい。</li> </ul>			

学習・生活に関わって	授業	A	<p>子どもたちが「めあて」や「問い」をもって学習活動に向かうことができるよう、導入場面の工夫や学習の「振り返り」を大切にした日常の授業を大切にする。また、子どもたちの「思い」や「願い」を生み、子どもたちが主体的に学ぶことのできる場の設定と支援をより充実させる。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの「問い」「振り返り」を大切にした授業</p> <p><input type="checkbox"/>子どもたちが主体的に考え、学び進める授業</p> <p><input type="checkbox"/>体験活動の充実 <input type="checkbox"/>ICT活用</p>	A	A
	行事	A	<p>今後も、各行事における「ねらい」や、「目指す子どもの姿」を具体的に話し合いながら進めていくことで、6年間の積み上げがなされるよう努めていく。また、手立てや育て方について様々な場を通じ、共通理解を図っていく。</p> <p><input type="checkbox"/>ねらいと活動内容の吟味</p> <p><input type="checkbox"/>学年・ブロック間での目指す子どもの姿と手立ての交流</p>	A	A
	たてわり活動等	A	<p>たてわり活動（異学年交流）の中で、他学年と活動することのよさや楽しさ、他学年へのあこがれや思いやりの気持ちをより育むため、年間活動計画を工夫する。1学期に遊ぶ機会を増やし、互いの名前や顔を覚えあった上で、2学期のハイキングやその後の交流の充実につなげていく。</p> <p><input type="checkbox"/>1学期のたてわり遊びの充実 <input type="checkbox"/>ネームカードの活用</p> <p><input type="checkbox"/>たてわりグループでの体力テストの実施</p> <p><input type="checkbox"/>行事や学習での交流 <input type="checkbox"/>メッセージカードによる交流</p>	A	A
	いじめ対策	A	<p>毎月のいじめ防止対策委員会では、いじめ事案の把握・認知や対応策の検討を組織的に行うことができた。また、支援が必要な児童についても相談や情報共有をすることによって、必要に応じて迅速にケース会議を行うこともできた。今後も複数の教員が関わる体制を大切に、児童が「大切にされている」と感じられる環境を整えながら、いじめの防止に努めていく。</p> <p><input type="checkbox"/>悩み・いじめに関するアンケートの活用 <input type="checkbox"/>ケース会議の実施</p> <p><input type="checkbox"/>シャボテンログの活用による個別相談</p>	A	A
学校関係者評価委員による意見			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めあて」や「問い」をもって学ぶことは、大学進学や就職後にも生かされる素晴らしい学び。自分で学びや経験をフィードバックしながら考えることで、研究や仕事も深まりが生まれる。今後も大切にしてほしい。</li> <li>・子ども同士が名前で呼び合える関係になることの価値・意義は大きい。</li> </ul>		
地域・保護者との連携	地域と連携した学習	A	<p>「生活科」や「総合的な学習の時間」を通じ、どの学年も実際に地域に出向き、地域の方々と関わりながら課題解決に向けて考え、行動する学習を進めることができた。次年度も、子どもたちと地域との関わりを大切にしたい学びの場をより充実させ、「ほろきた」地区の中で子どもを育てる取組を教育課程に位置付けていく。</p> <p>CSや保護者ボランティア、地域の企業や幼保小中との連携を生かし、子どもたちが主体的に地域の課題や地域の方の思いや願いに触れていく中で、「地域の一員」として自分たちにできることを考え、行動していけるよう支援する。</p> <p><input type="checkbox"/>「地域」を生かした教育課程 <input type="checkbox"/>様々な方々との連携</p> <p><input type="checkbox"/>子どもたちの主体性を育む、ゆとりある学びの場の設定</p>	A	A
学校関係者評価委員による意見			<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが、「地域の一員」として考えて学び、行動する取組は、今後がんばってもらいたい。これからも、地域と学校が協力しながら、子どもたちのよりよい成長を育んでいきたい。</li> </ul>		